

公表	事業所における自己評価総括表
----	----------------

○事業所名	ふうせん		
○保護者評価実施期間	令和7年1月28日	～	令和7年2月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数) 22名	(回答者数)	14名
○従業者評価実施期間	令和7年1月29日	～	令和7年2月14日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	11	(回答者数) 11
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月7日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・日常生活動作の支援を行うことで、子ども達が自分で行える事が増え、自分の意思を上手に伝えたり、進んで活動に参加したりする場面が見られ、表情に豊かさを感じ取れるようになるよう支援を行えること	・子供たちが主体となって取り組む活動を日々設定し、子ども達自身が自分と他者の似ている点、そうでない点を意識し、その子に合った接し方や行動が行えるよう直接支援するのではなくきっかけづくりや誘導を行っている。	・事業所の立地、利便性や人の集まる地域に施設があることをさらに強みとして、地域に関わり、日常生活だけでなく様々な体験が拡充していけるよう取り組みを行っていく。地域に認められ、一緒に成長していけるような密着型のサービスを提供できるよう働きかけを行っていく。
2	・強度行動障害対象児を積極的に受け入れ、状況が改善した実績を複数のケースデータとして持ち合わせている。新規の利用者さんに対してそのデータやケースを生かしつつ、一人一人の個性や興味関心を引き出した適切なアプローチで支援を行えること	・積極的な外部研修受講を通して職員一人一人が基礎的な知識を獲得できるようにするとともに、日々の会議開催では情報共有のみではなく、支援に関する考え方や、利用者さんを支援するのに必要な知識を一緒に学んでいくことで、共通理解の元支援が進み、支援員ごとにムラが出ないような工夫を行っている。	・社内研修や会議の充実をはかるため、これまでより職員の意見や意欲を広く取り入れ、年ごとに質の高い時間となるよう情報交換と取り組みを行っていく。 ・保護者の方との関係性を大事に、コミュニケーションを日々取りながら職員のことを知ってもらい、安心したサービスの提供につなげていく。
3	・祝日や土曜日など学校休業日に長時間の受け入れを行っており、それを通して平日のサービス提供時間では獲得する事のできない活動設定(運動会・遠足等)による体験活動機会を提供できている。また平日では把握しきれない利用者さんの特徴や興味関心を詳細に把握することができ、支援のアイデアへとつながる。	・行事の企画は同じ職員が取り組むのではなく、色々な職員がそれぞれの持ち回りを担当していくことで、設定された活動の中で職員それぞれのねらいやアイデアが発揮されるよう工夫を行っている。また負担が一人に集中しないよう、年度会議等で割り振りをしながら年間計画を設定している。	・土曜日や祝日にイベントの機会を設定し、長時間の利用を生かした保護者参加型のレクリエーション等みんなが参加できるような活動設定を検討することで、様々な利用者さんが一体となれるような事業所独自の取り組みやプログラムとなるのではないかと。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・下校した子供たちそれぞれに学習活動・運動活動などの設定が行われるが、部屋を一体として使用するクラスでは集中が続かないなどの環境的な不具合が見られている	・施設の間取りが原因でもあるが、時間による活動室の活動設定が自由に遊ぶ児童へ働きかけられていない点も挙げられる。	・学習室をクラスに関係なく利用できる空間とするなど、取り組む場所や目的が明らかとなるよう、構造化された空間を準備する。それぞれの子供たちが場の雰囲気やルールを理解していけるよう事前の声掛けやルール設定、視覚的補助などで分かりやすい工夫を行っていく。
2	・職員間の連絡共有方法が速やかに行われず、事前の課題準備や送迎などに支障が出る事や、職員が支援に円滑に入れない事象が発生する事がある	・大きな連絡や事前に分かっていることは連絡ノートや朝会などを通して伝達できるが、非常勤の職員に申し送りを行う機会が少なく、現状連絡共有ノートによる申し送りになっている。また当日の欠席や時間割の変更などについて俊敏な対応が行えていない。	・共有のSNSなどを利用しながら事業所内で迅速に連絡が共有できる体制を速やかに整備するとともに、非常勤の職員が出動後確認できる連絡ボードを作成し、その日の変更や業務について速やかに確認できる環境整備を行う。
3	・クラスの子ども達の年齢や種別構成などから、高学年の子どもへ向けたグループを意識した活動設定や、社会体験、その他思春期や自己決定の時期に差し掛かる子ども達への事例が少ない現状がある	・特に成人への移行経験が事業所として数件であり、成人のサービス等について専門的な知識をお伝えできない現状がある。	・研修参加や成人のサービスを提供している事業所様訪問等で就労や生活介護等のサービスを円滑に行えるよう、また保護者の方にサービスの概要を正確にお伝えできるように努めていく。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 ふうせん

公表日 年月日

利用児童数

22名 (令和7年1月28日時点)

回収数

14名 (令和7年2月28日時点)

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	11	1		2		
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	8	1		5		
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	12			2		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	11			3		
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	11	1	1	2		
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	11			3		
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	12	1		1		
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	11			3		
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	11			3		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	12		1	1		
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	6		4	4		
保護者 への 説明等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	13	1				
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	11	1		2		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	10	1	1	2		
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	13	1				
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	12	2				
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	12	1		1		
18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	6		4	4			

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	12	2			
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	12	2			
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	13			1	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	12	1	1		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	10		1	3	
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	10			4	
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	12	1		1	
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	12			2	
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	14				
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	13	1			
	29	事業所の支援に満足していますか。	12	2			<p>・毎日楽しくふうせんに行っています。</p> <p>・お子様、保護者様のご期待に沿った支援が行えるよう、今後とも体制整備、活動の充実に取り組んでいきます。皆様ご回答ありがとうございます。</p>

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	ふうせん				公表日	年 月 日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	10	1	・児童一人一人に合った課題の提供 ・カードでしたい事を伝えられる点	・倉庫の拡充と整理整頓 ・定員に合わせた事前の活動設定を行い、安全に活動できるよう工夫する	
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8	3	・目を離す際他職員への声掛け	・利用者が安心して過ごすため手厚い職員数がある ・お互いのクラスで助け合うことができているが、シフト調整などが課題。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	10	1	・学習室がある ・身体障がいのある利用者さんへのバリアフリー化	学習中の子ども、自由時間中の子どもがお互い干渉せず過ごせる環境設定、タイムスケジュール設定が必要。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	10	1		・おやつ後、昼食後の清掃をすぐに行う ・整理整頓は職員皆で行う	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	11	0			
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	8	3		・会議やクラス内で話す時間を取るため、シートの活用や、情報共有ノートの活用を行う。	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	11		・QR、書面での回答ができる事。		
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10	1			
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	7			
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	11				
適切な支援	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	11				
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	11				
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	10	1	・会議が少ないため、作成者が聞き取りに来る場面が多い	・作成には時間を要するので、支援会議の開催を頻繁に行う必要がある	
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	10	1			
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	10	1			
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	10	2			
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	10	1			

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	10	1	・継続して取り組むことも大事	・連続で同じものにならないようしているが、物品の作成・準備が追いついていない現状がある。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	11			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	5		・支援については個別で話をすることが多いため、もっと密に話し合いが必要 ・送迎の関係で全員が揃うのは難しい、活動は決まるが、役割分担まで行かない
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	4	・痼癖などについては振り返りができている	・個人で話をすることが多い ・小さなことでも、共有が必要
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	11			・取り組んだ結果があいまいな部分もあり、困ることもある
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	10	2		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	10	1		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	10	1		
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	11			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	9	2		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	9	2		送迎の連絡ミスがあるため、個人もだが、管理者がアラームの活用などを行っていく。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	7	4		小1ギャップへの対応を手厚くしなければいけない
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	8	3		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	6	5		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	4	7		・土曜日、祝日しか戸外活動へ行けていない
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	7	4		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	11			
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	9	2		
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	10	1		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の視点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	10	1		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	11			

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	11			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	9	2		
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	11			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	11			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	10	1		・物品の入れ違えに対して複数の職員で確認を行うなど対応を行う。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	11			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	6		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8	3		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	10	1		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	10	1		
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	11			
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	10	1		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	10	1		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	11			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	11			
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	11				